



アルフレッサ ホールディングス株式会社

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

株主のみなさまへ

2015年3月期報告書

(2014年4月～2015年3月)

証券コード 2784

株主のみなさまへ



代表取締役社長

石井 晴六

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府および日本銀行の金融・財政政策による雇用環境や所得環境の改善の動きに加え、原油価格の下落の影響等により緩やかな回復基調となりました。しかし円安による原材料価格の上昇や個人消費の持ち直しの動きの鈍さ、ならびに新興国経済の成長スピードの鈍化等、先行きについては依然として景気の下押しリスクが残っております。

医療用医薬品市場は、昨年春の薬価の引き下げ、ジェネリック医薬品の使用促進策の影響に加えて、昨年4月の消費税率引き上げ前に起きた需要増加の反動、その後の受診抑制の影響等により、17年ぶりに2.7%のマイナス成長(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定)となりました。

このようななか、当社グループにおきましては、企業価値の増大に向けて、2016年3月期を最終事業年度とする中期経営計画「13-15 中期経営計画 変革への挑戦～次なる頂^{いただき}を目指して～」の2年目として、事業領域とエリアの拡大をスピーディーに進めてまいりました。

医療用医薬品等卸売事業におきましては、業界の最重要課題である「流通改革」の推進に向けて積極的に取り組むと共に、引き続きお客様へのサービスの拡充と業務の効率化を推進してまいりました。

セルフメディケーション卸売事業におきましては、昨年4月の消費税率引き上げ前に起きた需要増加の反動による影響が見られましたが、一方で、外国人観光客向けの免税品販売がお客様の一部で好調に推移いたしました。また利益率の高い専売商品の販売への注力等により、安定的に利益を確保できる体質へ転換しております。

医薬品等製造事業におきましては、昨年春の診療報酬改定による薬価および材料価格の引き下げに加え、昨年4月の消費税率引き上げ前に起きた需要増加の反動の影響が見られました。こうした状況のなか、事業領域の拡大と収益基盤の強化を進めてまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は2兆4,211億62百万円(前期比3.3%減)、営業利益は292億28百万円(前期比16.4%減)、経常利益は389億85百万円(前期比12.5%減)、当期純利益は229億22百万円(前期比10.3%減)となりました。

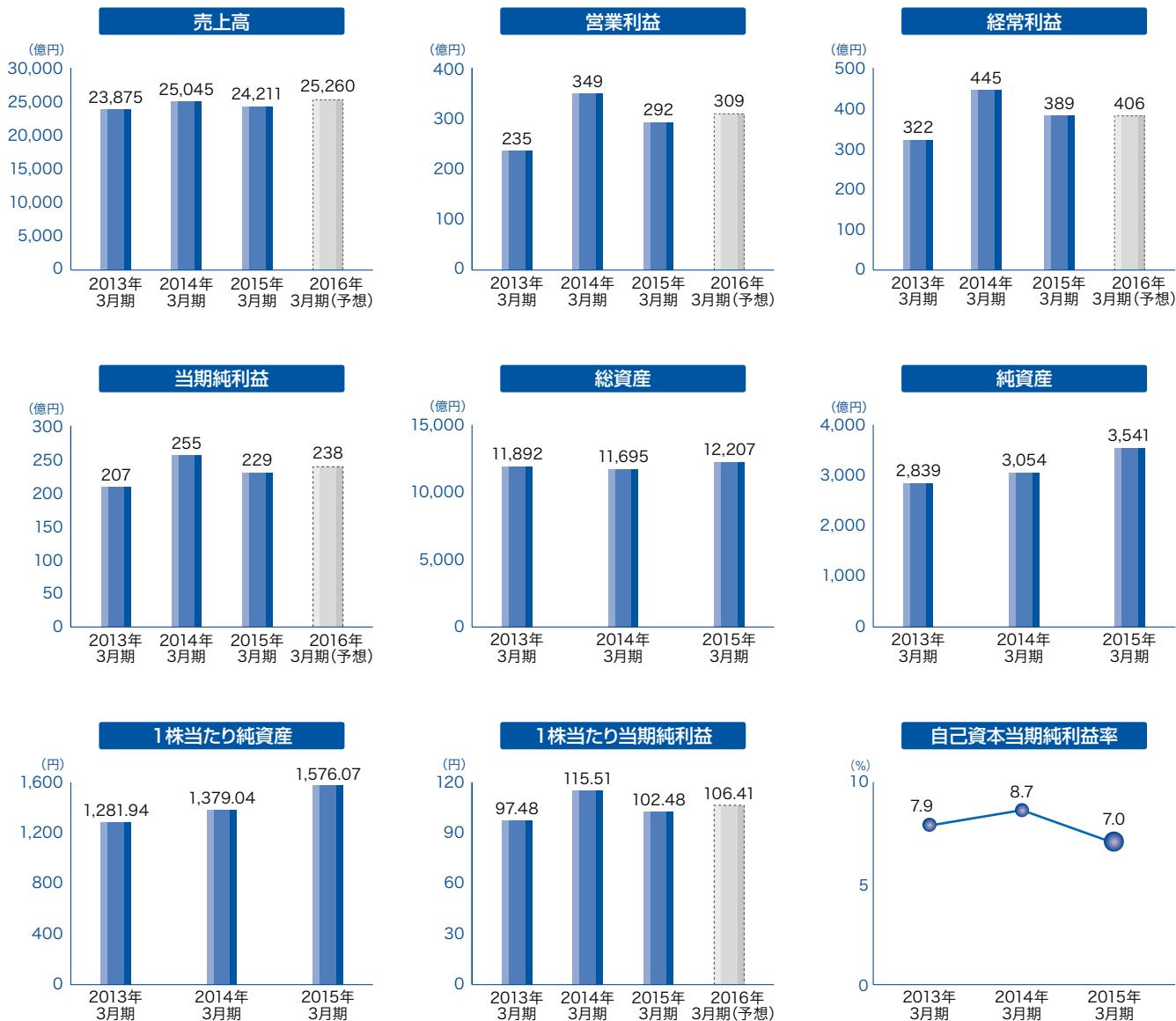
アルフレッサグループは、ヘルスケアコンソーシアム実現に向けて、事業領域とエリアの拡大を引き続き強化してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

目次	1 株主のみなさまへ	9 連結財務諸表(概要)
	3 当期の業績	13 株式情報
	5 特集 事業領域とエリア拡大の積極的な推進	14 会社概要／配当について

当期の業績

連結業績ハイライト



※2014年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2013年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し1株当たり純資産および1株当たり当期純利益を算定しております。

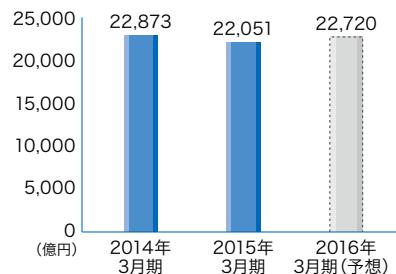
事業別の業績

医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等卸売事業におきましては、本年4月に完全子会社である成和産業株式会社と常盤薬品株式会社を統合し、新会社の商号をティーエスアルフレッサ株式会社といたしました。また、株式会社琉薬では、耐震構造と停電時対策を導入した高機能な本社・物流センターを本年1月に稼働いたしました。

当連結会計年度の売上高は2兆2,051億68百万円(前期比3.6%減)、営業利益は274億72百万円(前期比16.2%減)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高43百万円(前期比15.4%減)を含んでおります。

売上高(医療用医薬品等卸売事業)

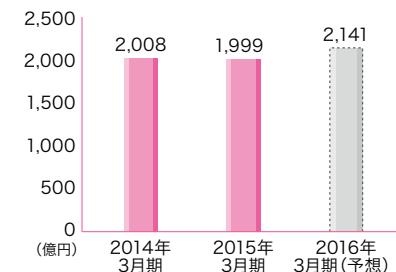


セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、昨年10月にアルフレッサヘルスケア株式会社が株式会社マツモトキヨシホールディングスのグループ会社である株式会社茂木薬品商会の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。

当連結会計年度の売上高は1,999億18百万円(前期比0.4%減)、営業利益は2億76百万円(前期比46.2%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高5億48百万円(前年同期比13.6%減)を含んでおります。

売上高(セルフメディケーション卸売事業)

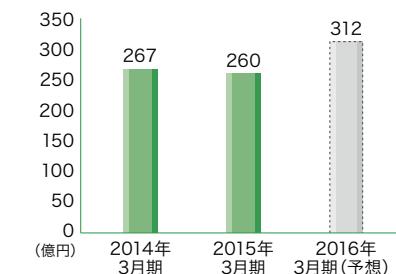


医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、昨年11月にアルフレッサファーマ株式会社が第一三共プロファーマ株式会社の秋田工場を譲受する契約書を締結し、完全子会社化の上、アルフレッサファインケミカル株式会社として本年4月1日に事業を開始いたしました。また、本年1月にアルフレッサファーマ株式会社の岡山製薬工場の新配送センターが稼働し、同工場の製剤棟、包装棟、配送センターの再構築が完了いたしました。

当連結会計年度の売上高は260億21百万円(前期比2.9%減)、営業利益は13億15百万円(前期比28.3%減)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高93億53百万円(前期比4.5%減)を含んでおります。

売上高(医薬品等製造事業)



ティーエスアルフレッサ(株)がスタート

2015年4月に医療用医薬品等卸売事業を営む成和産業株式会社と常盤薬品株式会社の完全子会社2社が合併し、「ティーエスアルフレッサ株式会社」として新たなスタートを切りました。幅広いメーカー構成の医療用医薬品と、豊富な品揃えの医療機器でお得意様のニーズヘトータルにお応えすると共に、物流の効率化や地域に一層密着した営業体制の強化を進めてまいります。

ティーエスアルフレッサ株式会社

所在地：広島県広島市西区商工センター
一丁目2番19号

代表者：代表取締役会長 高橋 英富
代表取締役社長 枝廣 憲三

事業内容：医療用医薬品等卸売事業

資本金：1,144百万円



発足記念パーティー

2013年4月よりスタートした

「13-15中期経営計画 変革への挑戦 ～次なるヘルスケアコンソーシアムの実現に向けて積極市場の変化に対応できる強靱な体質への転換

2015年3月期の主な取り組み

アルフレッサ ファーマ(株)の
新配送センターが稼働
⇒ P7

ティーエスアルフレッサ(株)がスタート
⇒ P5



「頂を目指して～」のもと、
 的な事業領域とエリア拡大の投資を継続し、
 を進めております。



（株）琉薬が本社・物流センターを竣工

医療用医薬品等卸売事業を営む株式会社琉薬は、2014年11月に沖縄県浦添市に本社・物流センターを竣工し、2015年1月より稼働を開始いたしました。本社機能をさらに強化・充実するとともに、入出荷および品揃えの管理の正確性や効率の向上、または厳格な温度管理などにより、物流機能の高度化を図っております。

また、耐震構造や自家発電装置の導入により、災害時にも医薬品等を安定供給できる体制を整えました。今後、物流業務の効率化によりローコスト運営を一層推進してまいります。

株式会社琉薬 本社・物流センター

所在地：沖縄県浦添市牧港五丁目6番5号
 敷地面積：10,259㎡ (3,103坪)
 建築敷地面積：3,407㎡ (1,031坪)
 延床面積：11,063㎡ (3,346坪)
 構造：鉄骨造4階建
 保管品目：最大約16,000品目



本社・物流センター外観

アルフレッサ ファーマ(株)の 配送センターを新築して稼働

医薬品等製造事業を営むアルフレッサ ファーマ株式会社は、岡山配送センターを新築し、2015年1月より稼働いたしました。岡山製薬工場の製剤棟および包装棟と直結し、原材料の入荷から製品の最終出荷まで、一貫ラインを構築しており、旧センターの1.7倍まで製品の保管能力を高めています。また、

アルフレッサ ファーマ株式会社 岡山配送センター

所在地：岡山県勝田郡勝央町太平台18番地
(岡山製薬工場 敷地内)

構造：鉄骨造2階建

敷地面積：2,739.40㎡

延床面積：4,782.58㎡

保管能力：2,979パレット

自家発電装置などの導入により、停電時における製品の安定供給にも対応しています。品質の向上と物流業務のさらなる高度化を実現しております。



岡山配送センター外観

抗けいれん剤 「ミダフレッサ®静注0.1%」を新発売

アルフレッサ ファーマ株式会社は、2014年12月に抗けいれん剤「ミダフレッサ®静注0.1%」(一般名:ミダゾラム)の販売を開始いたしました。本製品はてんかん重積状態への適応を取得した国内唯一の静注用ミダゾラム製剤です。小児のてんかん重積状態の患者を対象とした国内臨床試験において、その有効性・安全性が認められており、てんかん重積状態の治療に新たな選択肢を与えるものと期待されています。



ミダフレッサ®静注0.1%

アルフレッサ ファインケミカル(株)がスタート

アルフレッサ ファーマ株式会社は、第一三共株式会社の完全子会社である第一三共プロファーマ株式会社の秋田工場を譲り受けて完全子会社化し、2015年4月より、アルフレッサ ファインケミカル株式会社として事業を開始いたしました。アルフレッサ ファインケミカル株式会社が持つ医薬品原薬製造における高い技術力・生産能力およびリソースと

アルフレッサ ファーマ株式会社の医薬品原薬販売事業とのシナジー効果を創出し、医薬品原薬事業を強化してまいります。

アルフレッサ ファインケミカル株式会社

所在地：秋田県秋田市向浜一丁目10番1号
 代表者：代表取締役社長 宮寺 彰彦
 面積：26万平方メートル
 生産能力：約300トン／年
 主な生産品目：医療用医薬品の原薬 (API)



工場外観

(株)日本アポックを子会社化

2015年3月に株式会社ヤオコーの子会社で、調剤薬局事業を行う株式会社日本アポックの株式を譲受し、同社を子会社化いたしました。調剤薬局事業の経営を通じてアルフレッサグループの業容拡大とさらなる企業価値向上を目指してまいります。

株式会社日本アポック

所在地：埼玉県川越市脇田本町6番地20
 代表者：代表取締役会長 犬竹 一浩
 代表取締役社長 今田 修
 事業内容：調剤薬局事業の経営
 設立日：平成7年9月7日
 資本金：270百万円

連結財務諸表(概要)

連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	前期	当期
	2014年3月31日現在	2015年3月31日現在
資産の部		
POINT 1 流動資産	947,226	951,940
現金及び預金	121,025	105,311
受取手形及び売掛金	604,144	597,779
有価証券	34,996	62,000
たな卸資産	130,920	131,328
その他	56,140	55,519
POINT 2 固定資産	222,320	268,841
有形固定資産	110,467	118,766
建物及び構築物	36,475	38,100
土地	62,780	63,850
その他	11,211	16,815
無形固定資産	9,384	10,650
のれん	3,722	5,190
その他	5,662	5,460
投資その他の資産	102,467	139,424
投資有価証券	87,503	124,410
その他	14,964	15,013
資産合計	1,169,546	1,220,781

POINT 1 流動資産

「現金及び預金」や「受取手形及び売掛金」が減少し、「有価証券」が増加したことなどにより、前期と比べ47億13百万円増加いたしました。

POINT 2 固定資産

時価の上昇に伴い「投資有価証券」が増加したことなどにより、前期と比べ465億21百万円増加いたしました。

科目	前期	当期
	2014年3月31日現在	2015年3月31日現在
負債の部		
流動負債	824,071	819,571
支払手形及び買掛金	799,280	784,954
短期借入金	848	259
その他	23,943	34,358
固定負債	40,039	47,086
長期借入金	636	1,476
退職給付に係る負債	17,405	15,051
その他	21,997	30,558
負債合計	864,110	866,658
純資産の部		
株主資本	277,321	298,308
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	100,110	103,799
利益剰余金	159,954	177,061
自己株式	△1,196	△1,006
その他の包括利益累計額	27,911	54,210
その他有価証券評価差額金	32,113	56,512
土地再評価差額金	△4,341	△4,211
為替換算調整勘定	137	205
退職給付に係る調整累計額	2	1,701
少数株主持分	202	1,603
純資産合計	305,436	354,123
負債純資産合計	1,169,546	1,220,781

POINT 3**流動負債****POINT 3**

「支払手形及び買掛金」が減少したことなどにより、前期と比べ44億99百万円減少いたしました。

POINT 4**株主資本****POINT 4**

「利益剰余金」が増加したことなどから、前期と比べ209億86百万円増加いたしました。自己資本比率は2.8ポイント上昇し、28.9%となりました

利益剰余金

2015年3月期

1,770億61百万円 (前期比11%アップ)

連結財務諸表(概要)

連結損益計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

	科目	前期	当期
		2013年4月1日から 2014年3月31日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
POINT 5	売上高	2,504,504	2,421,162
	売上原価	2,332,959	2,255,406
POINT 6	売上総利益	171,544	165,755
POINT 7	販売費及び一般管理費	136,580	136,527
	営業利益	34,964	29,228
	営業外収益	10,411	10,412
	営業外費用	814	655
	経常利益	44,561	38,985
	特別利益	362	238
	特別損失	1,698	1,992
	税金等調整前当期純利益	43,225	37,231
	法人税、住民税及び事業税	10,330	13,020
	法人税等調整額	7,324	1,285
	法人税等合計	17,654	14,306
	少数株主利益	4	2
	当期純利益	25,566	22,922

POINT 5 売上高

薬価の引き下げや後発品の使用促進策の影響、消費税率引き上げ前に起きた需要増加の反動などにより、前期と比べ833億42百万円減少いたしました。

POINT 6 売上総利益

「売上高」の減少などにより、前期と比べ57億88百万円減少いたしました。売上総利益率は前期と同じ6.9%となりました。

POINT 7 販売費及び一般管理費

経費削減の取り組みなどにより、前期並みになりましたが、「売上高」の減少などにより売上高販管費比率は0.1ポイント上昇し、5.6%となりました。

連結株主資本等変動計算書 (2014年4月1日～2015年3月31日)

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

	株主資本					その他の 包括利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
会計方針の変更を反映した当期首残高	18,454	100,110	160,347	△1,196	277,715	27,911	202	305,829
当期変動額								
剰余金の配当			△6,118		△6,118			△6,118
当期純利益			22,922		22,922			22,922
自己株式の取得				△15	△15			△15
自己株式の処分		0		0	0			0
連結範囲の変動		1,865			1,865			1,865
株式交換による増加		1,823		204	2,028			2,028
土地再評価差額金の取崩			△86		△86			△86
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	26,299	1,400	27,700
当期変動額合計	-	3,689	16,714	189	20,593	26,299	1,400	48,293
当期末残高	18,454	103,799	177,061	△1,006	298,308	54,210	1,603	354,123

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	前期	当期
	2013年4月1日から 2014年3月31日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
POINT 8 営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,507	35,813
POINT 9 投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,769	△6,583
POINT 10 財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,643	△8,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	42
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△57,850	21,262
現金及び現金同等物の期首残高	195,996	138,819
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	672	184
現金及び現金同等物の期末残高	138,819	160,265

POINT 8 営業活動による キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益372億31百万円、減価償却費82億58百万円、売上債権の減少99億91百万円、仕入債務の減少192億79百万円などがありました。

POINT 9 投資活動による キャッシュ・フロー

有価証券の売却による収入100億円、物流拠点の整備を中心とした有形固定資産の取得による支出142億85百万円などがありました。

POINT 10 財務活動による キャッシュ・フロー

配当金の支払61億18百万円、リース債務の返済による支出21億28百万円などがありました。

株式情報 (2015年3月31日現在)

株式の概況

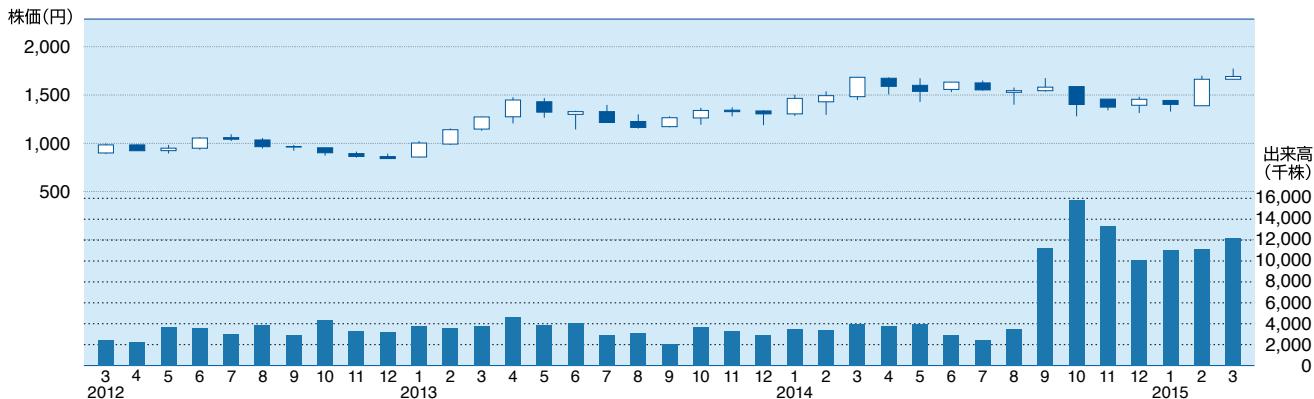
発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	235,017,600株
株主数	10,801名

大株主

順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	アルフレッサ ホールディングス株式会社	11,348	—
2	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	6,704	3.0
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,680	2.5
4	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,200	2.3
5	エーザイ株式会社	4,602	2.1
6	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4,139	1.9
7	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	3,908	1.7
8	MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	3,425	1.5
9	福神 邦雄	3,308	1.5
10	第一三共株式会社	3,202	1.4

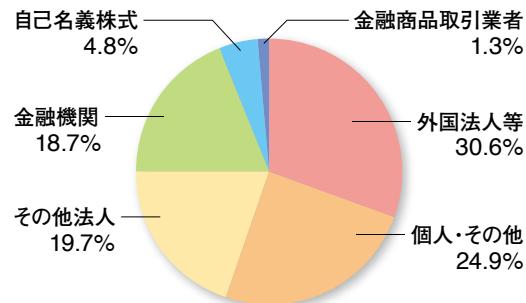
※所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

株価・出来高の推移 (東京証券取引所)

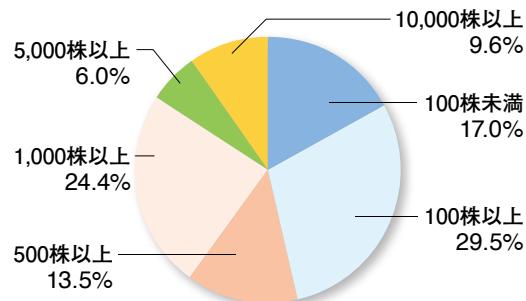


※2014年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、過去に遡って当該株式分割を反映した株価を記載しております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



会社概要 (2015年3月31日現在)

■ 会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
(Alfreda Holdings Corporation)

■ 本社所在地 〒100-0004
東京都千代田区大手町一丁目1番3号

■ 従業員数 11,366名(連結)

■ 設立年月日 2003年9月29日

■ 事業の内容 医薬品、医療用検査試薬、
医療機器・用具等の卸販売および
製造販売並びに輸出入等を行う
子会社の管理等

■ 資本金 18,454百万円

■ 取締役および監査役(2015年6月25日現在)

取締役 名誉会長	福神 邦雄
代表取締役社長	石黒 傳六
代表取締役	滝田 康雄 (副社長)
代表取締役	鹿目 広行 (副社長)
取締役	高橋 英富 (副社長)
取締役	長谷部 省三 (副社長)
取締役	久保 泰三 (副社長)
取締役	三宅 俊一 (専務執行役員)
取締役	泉 康樹 (常務執行役員)
取締役	篠原 恒夫
取締役(社外取締役)	木村 和子
取締役(社外取締役)	寺井 公子
常勤監査役	桑山 賢治
監査役(社外監査役)	山田 信義
監査役(社外監査役)	野口 祐嗣
監査役(社外監査役)	神垣 清水

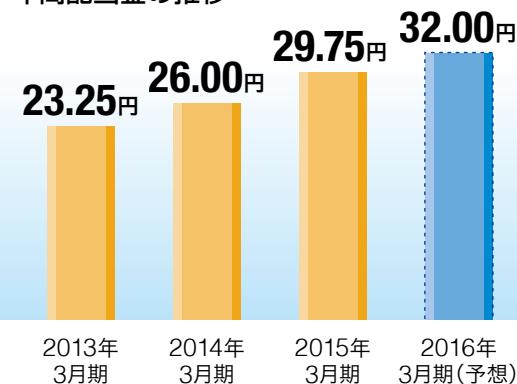
配当について

当社の配当につきましては、連結業績を基準に、財務体質の強化や経営基盤の安定性、および将来の事業展開等を総合的に勘案し、純資産配当率(DOE)2%を目途に業績を考慮しながら決定していきたくと考えております。

この方針に基づき、2015年3月期の期末配当金を16円とし、中間配当金13.75円とあわせて年間配当金を29.75円といたしました。2016年3月期は中間配当金16円、期末配当金16円で年間配当金32円を予定しております。

なお、当社は2014年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2015年3月期の中間配当金につきましては、株式分割前の金額である55円に株式分割を反映させた13.75円を記載しております。

年間配当金の推移



※過去に遡って株式分割を反映した配当金を記載しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	日本経済新聞

株主のみなさまからの声をお待ちしております。

当社では、株主のみなさまからのご意見・ご要望をお受けしております。

ご意見・ご要望がございましたら、お電話やおハガキ、またはeメール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしております。

アルフレッサ ホールディングス株式会社 財務企画部 広報IR室
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



本誌は、FSC®認証紙と、
植物性インキを使用しています。

株式に関するお手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの 各種お手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

■ 単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

特別口座に記録された株式に関する 各種お手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

■ 特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

配当金に関するお知らせについて

当社では、郵便ハガキによる「期末配当金に関するお知らせ(中間配当金の支払に関する取締役会決議ご通知)」の送付を廃止いたしました。当社ホームページへの掲載によりご案内しております。

ホームページ <http://www.alfresa.com/>